

2002年度受賞作

佐藤一郎賞

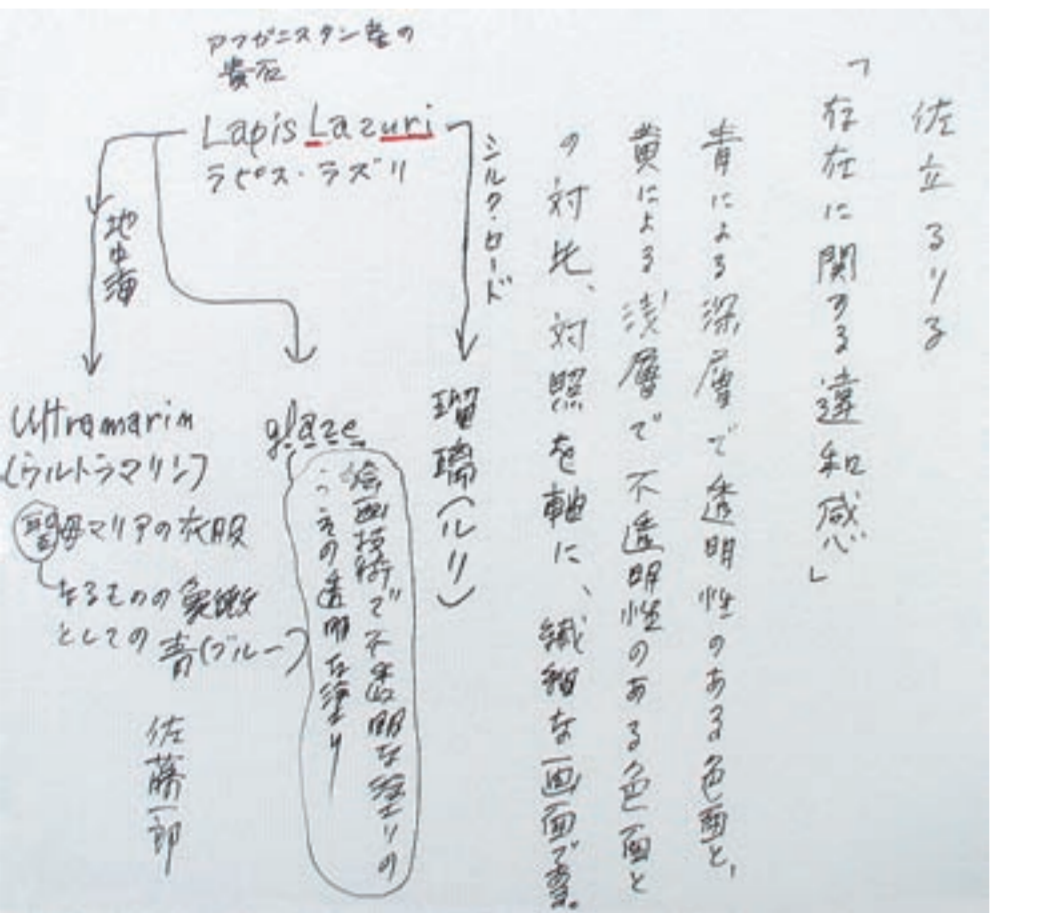


存在に関する違和感

佐立 りり子

審査員コメント

自分の二つの面、理想にあこがれる自分が青であり、自分でよくわからないような自分の内面が糸くずであり、その二つが絡み合ったようなもので、そのような自分の中の二つの要素が融合しそうで融合しない色と形で還元できている絵。

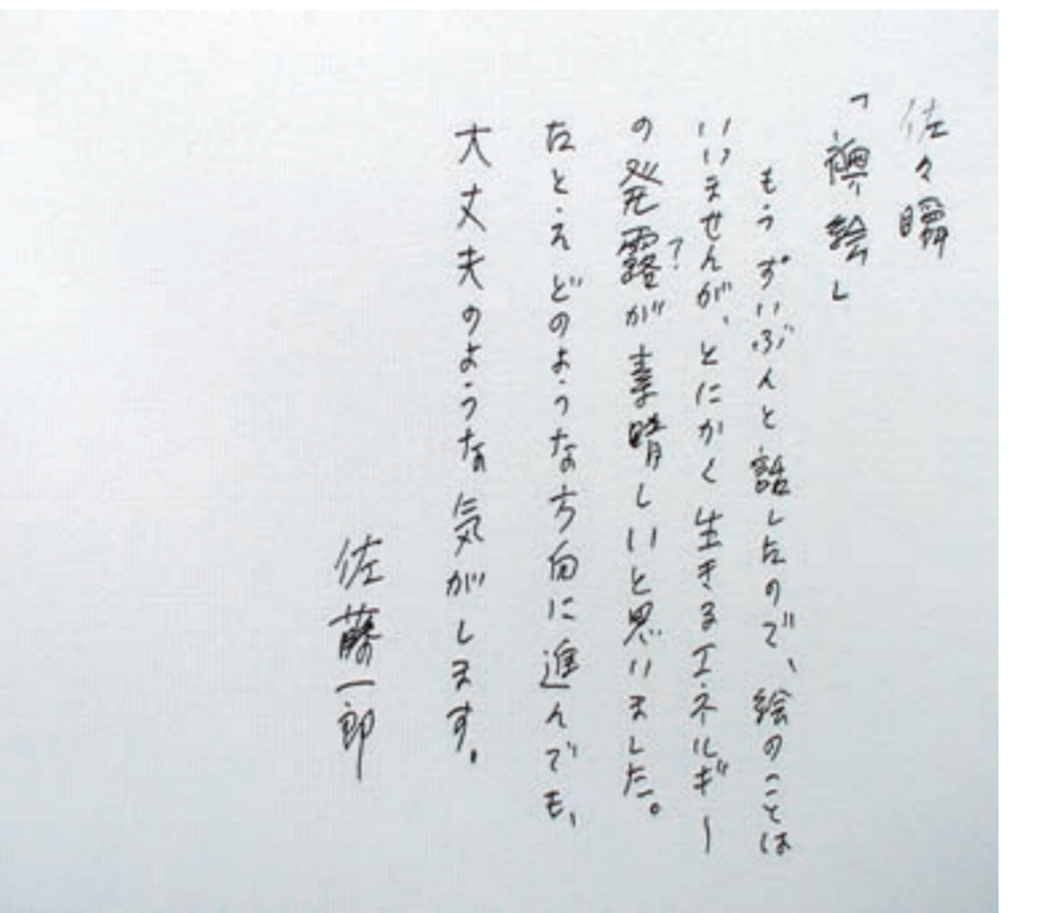


襖絵

佐々 瞬

審査員コメント

一見日本画のような絵だが、身体全体で描いている、そのアクションがそのまま絵になっている。都会の中においても、日本人の生命力のエネルギーのほとぼしりが直裁に出ている。

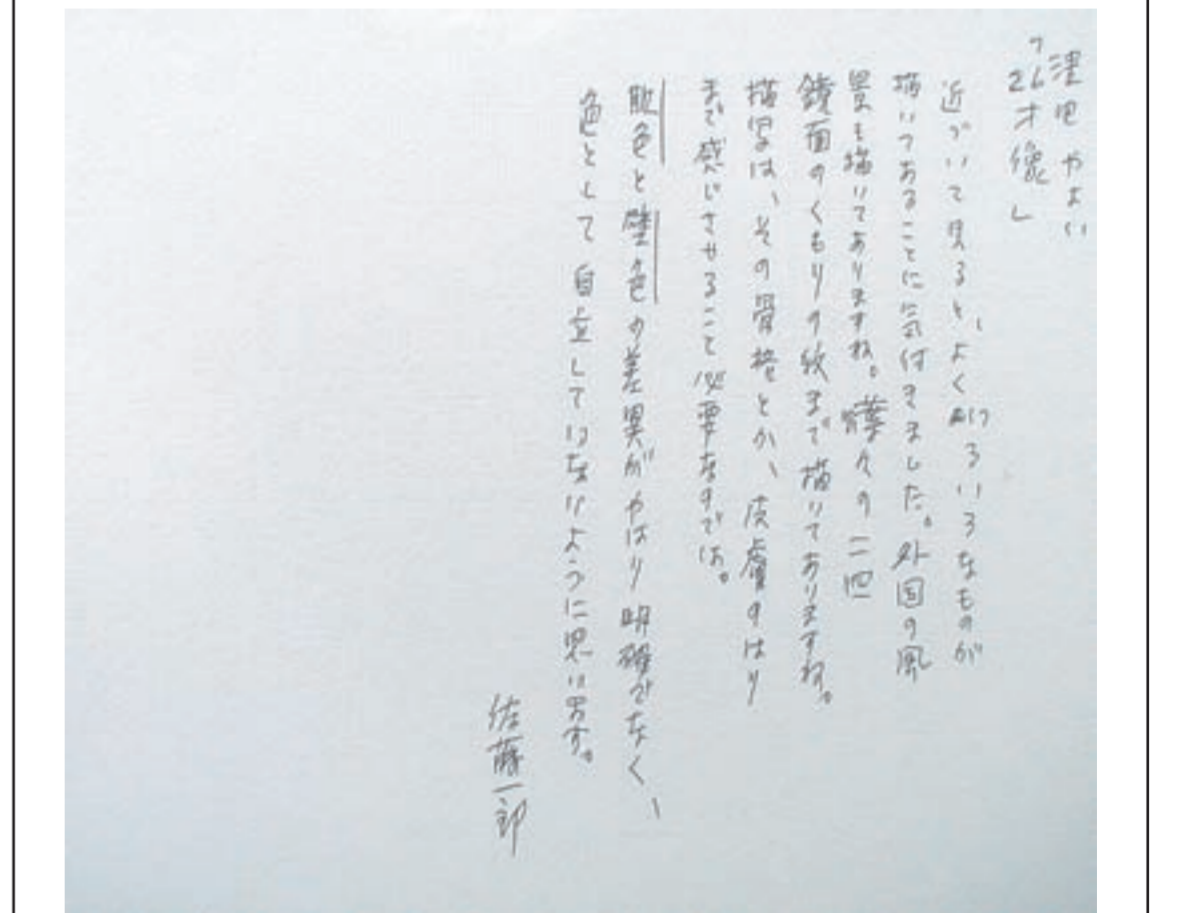


26歳像

津田 やよい

審査員コメント

徹底して描写しきるということをがんばった作品。



セルフポートレート

2002